東公園周辺道路等検討状況について

福井市都市整備課

令和7年11月

01 調査内容

目 的

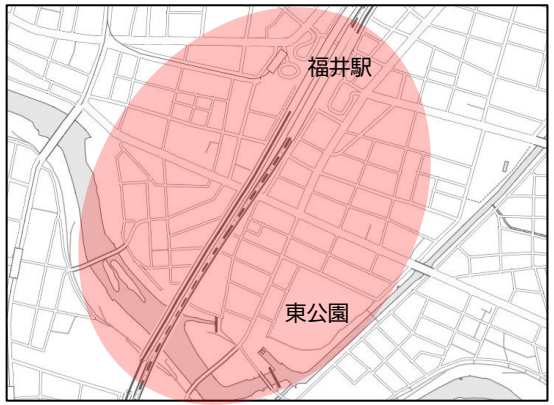
東公園は福井駅から徒歩圏内であり、交通の利便性が極めて高いことから、来場者駐車場を設けず、歩いてもらう計画となっているものの、迷惑駐車や交通渋滞などによる住環境に与える影響を不安視する声がある。

そこで、アリーナ開業後における人の流れや、周辺道路の混雑状況等のシミュレーションを行うとともに、近隣住民の住環境保全や来場者の安全確保を行うための必要な対策等について、調査検討を行う。

概 要

業務期間：令和6年10月1日～令和8年3月31日

業務対象範囲：右図のとおり



業務内容

01 交通手段別分担率予測

・鉄道、バス、車、自転車、徒歩等の交通手段別分担率をイベント種別に予測する。

02 歩行者・関係車両の導線検討

・歩行者導線と関係車両の導線の検討を行う。
・退場後の主要交差点における人の滞留を予測する。
・歩行者の滞留を引き起こさないための退場マネジメント策を検討する。

03 イベント開催時の交通量推計・分析

・主要路線（木田橋通り、城の橋通り）、主要交差点部（豊島、春日）の交通量調査を行う。
・興行時の交通量推計・分析を行う。

04 車両停車場所の検討

・送迎車両とシャトルバスの適切な乗降場所の検討を行う。

05 周辺道路整備等の検討

・周辺道路の整備のあり方について検討する。
・東公園周辺道路の速度抑制及び車両進入抑制方法を検討する。
・ハード整備のほか、交通規制、運用面からの検討も行う。

02 検討状況 | 前提条件(アリーナ興行時)

Point ①

✓ 敷地内に来場者駐車場は設けない

・関係者駐車場とする。
　※身障者等の車両除く
・敷地内は、附置義務程度の駐車台数とする。
　(約70～80台程度)

◎ 豊島2丁目内への一般車両の進入を防ぎ、住環境を保全

Point ②

✓ 歩行者と関係車両の導線を分ける

・荒川沿いの道路は幅員約12mと、他に比べて広く、駐車場に近いため、車両導線とする。
　※設営・撤去等の関係車両(大型トラック)やスタッフ車両は来場者の入退場時間と干渉しない

◎ 安心・安全な歩行者・車両導線の確保と住環境の保全

Point ③

✓ 来場者の大半は、福井駅方面から/へ

・交通手段は鉄道、車など様々あるものの、来場者の入退場時はその大半が歩行者
・その多くが、福井駅方面から訪れる(若しくは、福井方面へ向かう)。

◎ 安心・安全な歩行者空間の確保と住環境の保全

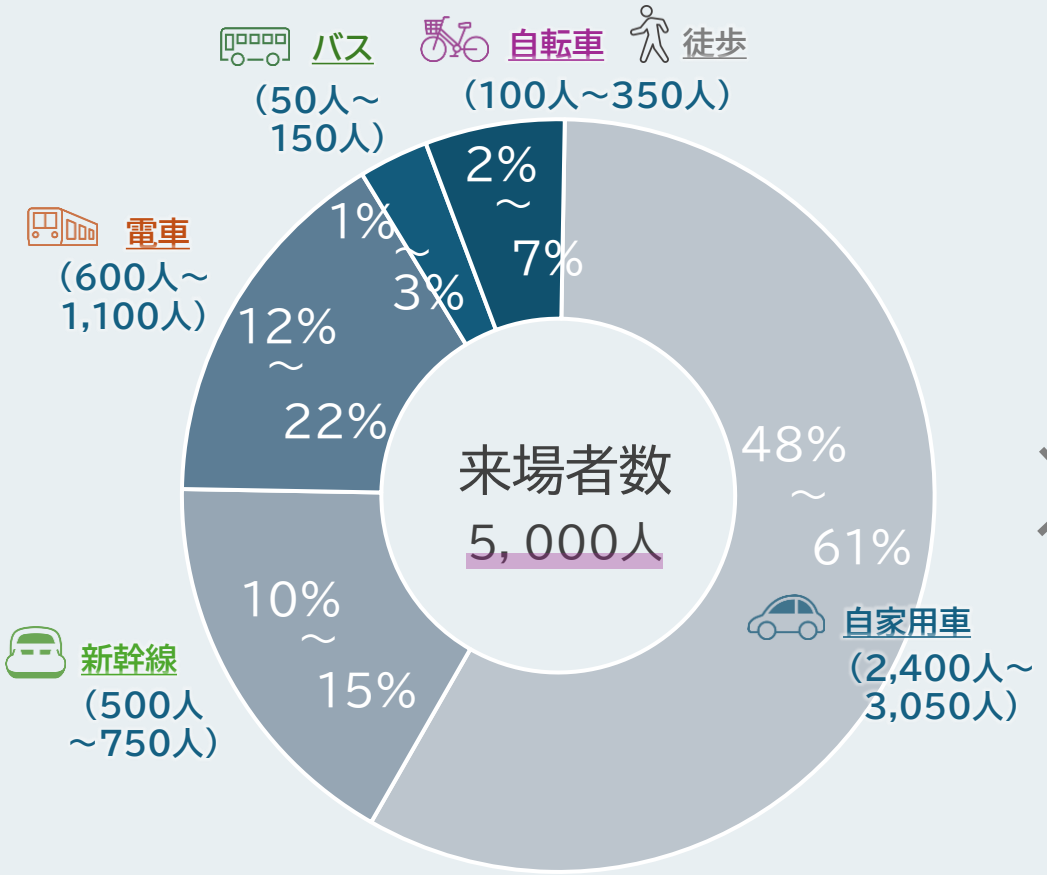
02 検討状況 | ①-1 交通手段別分担率 〔Bリーグ等観戦時〕

※今後、調査検討を進める中で変更となる可能性があります。

過去に行った調査結果や、他市の興行実績などから、アリーナへの来場手段の分担率予測は以下のとおりです。

主な交通手段の分担率は以下のとおり

〔Bリーグ等観戦時〕



Point ①

交通手段は、自家用車、公共交通など様々だが
入退場時の大部分は“歩行者”

約 4,650 ～ 4,900人

Point ②

自家用車利用は、2人乗車換算で

約 1,200 ～ 1,525台

※自家用車は、時間貸し駐車場を利用する車両を抽出しています。

〔主な課題〕

- 安心安全の確保

歩行者空間の創出

- 近隣住民の住環境保全
- 交通渋滞の緩和

他の交通手段へ代替

分散駐車の促進

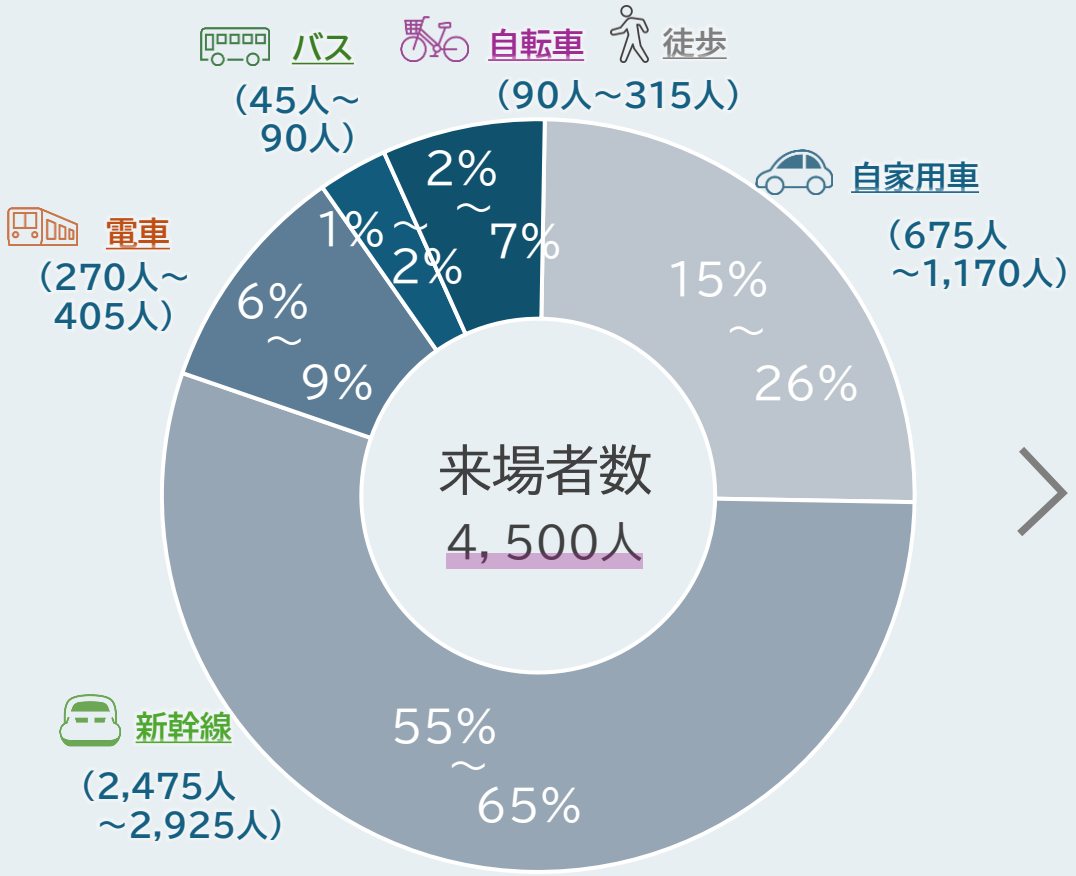
02 検討状況 | ①-1 交通手段別分担率 〔コンサート鑑賞時〕

※今後、調査検討を進める中で変更となる可能性があります。

過去に行った調査結果や、他市の興行実績などから、アリーナへの来場手段の分担率予測は以下のとおりです。

主な交通手段の分担率は以下のとおり

〔コンサート鑑賞時〕



Point ①

交通手段は、自家用車、公共交通など様々だが
入退場時の大部分は“歩行者”

約 4,185 ～ 4,410人

Point ②

自家用車利用は、2人乗車換算で

約338 ～ 585台

※自家用車は、時間貸し駐車場を利用する車両を抽出しています。

※再掲

〔主な課題〕

- 安心安全の確保

歩行者空間の創出

- 近隣住民の住環境保全
- 交通渋滞の緩和

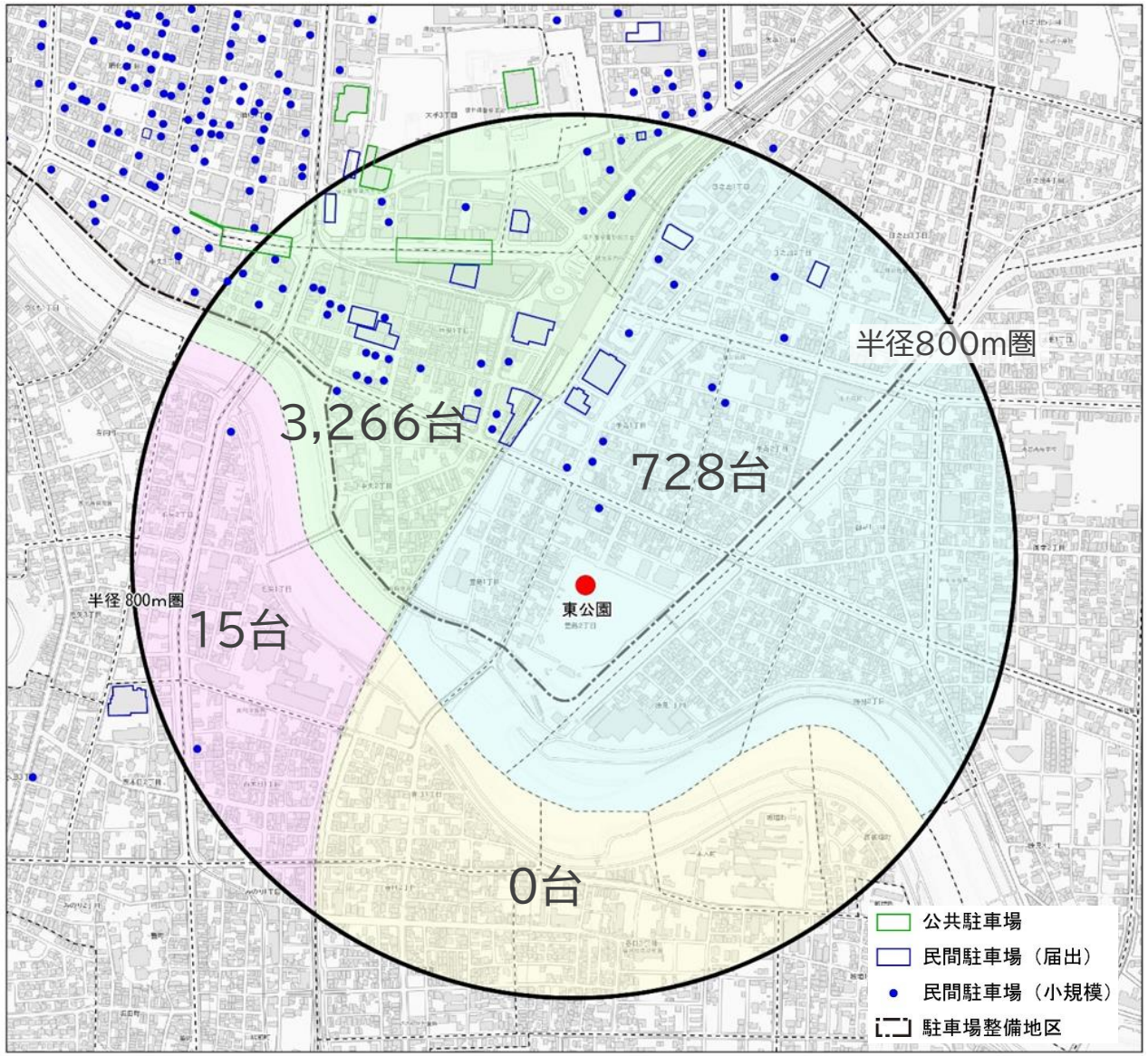
他の交通手段へ代替

分散駐車の促進

02 検討状況 | ①-2 周辺駐車場 〔半径800m圏〕

※令和6年5月現地踏査をもとに作成

東公園から徒歩圏内の駐車場の分布及び駐車可能台数については、以下のとおりです。



■エリア別駐車場・収容台数

	駐車場数	台数
北 東	15	728
北 西	47	3,266
南 東	-	-
南 西	2	15
計	64	4,009

- ✓ 駐車場は北西部に集中
- ✓ コインパーキングは北西部を中心に点在
- ✓ 外円近くに駐車場の多くが分布

〔主な課題〕

- ◆ 徒歩圏である800m内に駐車場は多くあるものの、東公園まで歩いてもらう必要がある。
- ◆ 休日昼間の空車率は31%※1、空き台数は約1,240台。
  ⇒徒歩圏内の駐車場では足りない場合も想定される。
- ◆ 福井駅周辺で大型イベントが同時に開催されると、周辺駐車場に空きがあるとは限らない。

〔主な対応方針〕

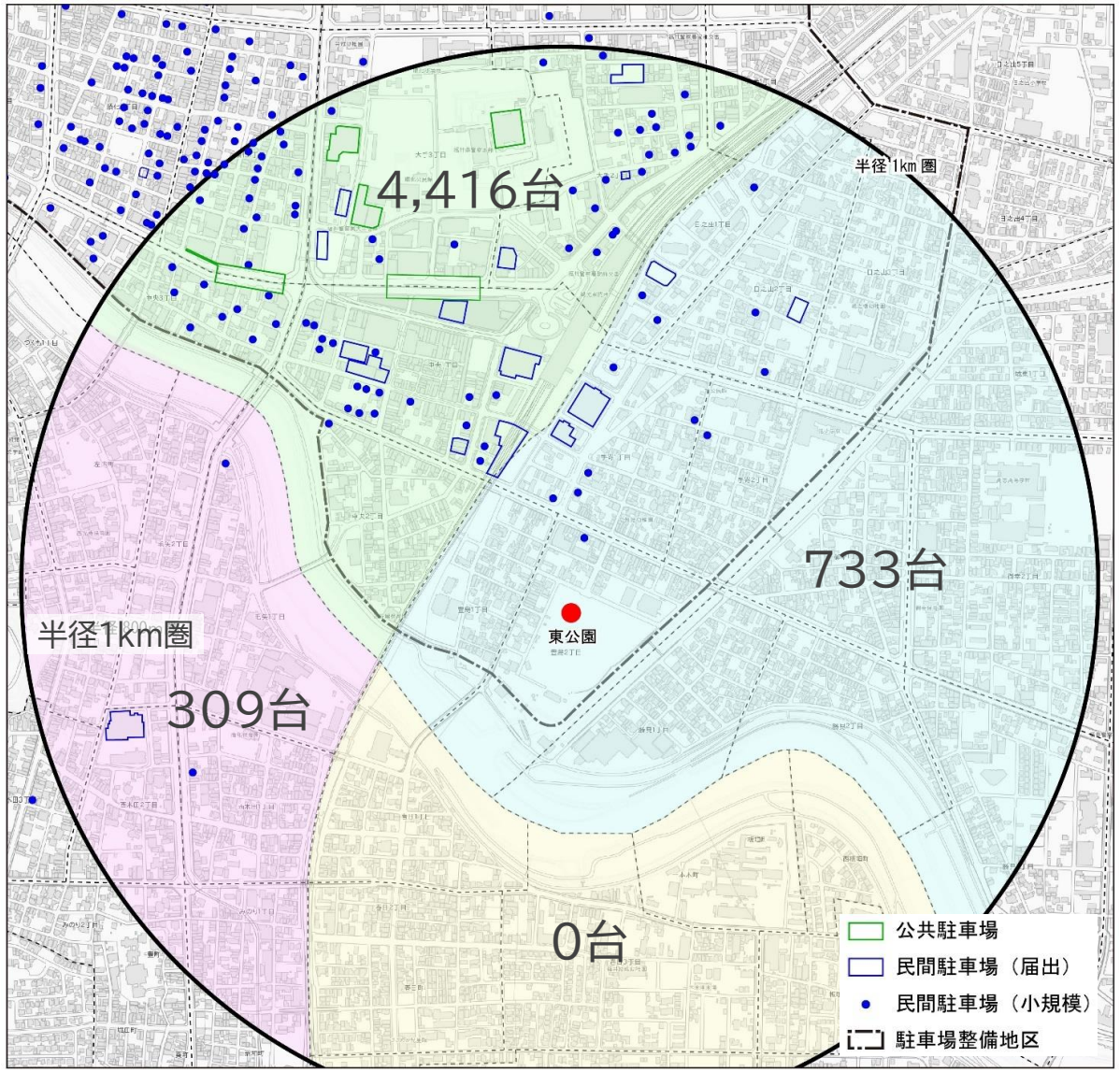
- ○ 他の交通手段の利用促進
- ○ 歩行者空間の創出
- ○ 分散駐車の促進

※1 「駐車場マネジメント検討業務」主要駐車場の空車状況調査から算出

02 検討状況 | ①-2 周辺駐車場 〔半径1km圏〕

※令和6年5月現地踏査をもとに作成

徒歩圏内を200m延長し、“1km”とした場合、駐車場の分布及び駐車可能台数については、以下のとおりです。



	駐車場数	台数
北 東	16	733
北 西	85	4,416
南 東	-	-
南 西	3	309
計	104	5,458

- ✓ 駐車場は北西部に集中
- ✓ コインパーキングは北西部を中心に点在
- ✓ 外円近くに駐車場の多くが分布

〔主な課題等〕

- ◆ 徒歩圏を200m延長した場合、駐車場は5,458台となる。
  ⇒東公園まで歩く距離が延びることになる。
- ◆ 休日昼間の空車率は31%※1、空き台数は約1,690台。
  ⇒駐車台数は確保可能
- ◆ 福井駅周辺で大型イベントが同時に開催されると、周辺駐車場に空きがあるとは限らない。※再掲

〔考察〕

イベント興行時の徒歩圏1kmは、許容範囲とされ、分散駐車することによる混雑回避につながるものの、会場まで歩いてもらう工夫が必要。

時間貸し駐車場は、一般的に事前予約制ではないため、満車の時に次の駐車場へ向かう車“迷い運転”による滞留が生じる可能性がある。

※1 「駐車場マネジメント検討業務」主要駐車場の空車状況調査から算出

②-1 歩行者・関係車両の導線検討 〔メイン導線〕

歩行者の安全を確保するための歩行者と関係車両の導線については、以下のとおりです。

Point ①

✓ 敷地内に来場者駐車場は設けない

〔木田橋通り〕
・歩道幅員が2～2.5mと狭く、車の通行もあることから、歩行者のメイン導線と考えない。

Point ②

✓ 歩行者と関係車両の導線を分ける

〔東公園西側道路〕
・福井駅方面から来る（へ向かう）人が大半を占めることから、歩行者のメイン導線と考えない。

Point ③

✓ 来場者の大半は、福井駅方面から/へ

〔荒川沿いの道路〕
・福井駅方面から来る（へ向かう）人が大半を占めることから、車両導線は、歩行者導線と極力重ならないルートとする。

〔歩行者・車両のメイン導線〕

✓ 歩行者のメイン導線は、東公園から北側に延びる「東部2－45号線」とします。
✓ 車両のメイン導線は、荒川沿いの道路「東部2－42号線」とします。

〔主な対策（案）〕
○ 道路の整備（東部2－42号線、2－45号線）
○ 警備員の配置　○ 交通規制（方法などを警察と協議中）

③-1 交通需要推計

〔豊島交差点(興行時の交通量)〕

Bリーグ等開催時における豊島交差点に発生する交通需要の予測は以下のとおりです。

■Bリーグ開催時における豊島交差点部の交通量

（休日14時開催時）

- ✓ 交通手段別分担率予測から12時～13時台の福井駅周辺への流入量を1,525台と仮定する。
- ✓ 右図B、Cの方向からの流入は 305台
  ※嶺北地域の人口分布から流入を約20%と推計(B、C方向)
- ✓ 右図A、Dからの流入は限定的 ※駐車場の約8割が駅西側に分布
- ✓ A～Dの流入量は以下のとおり

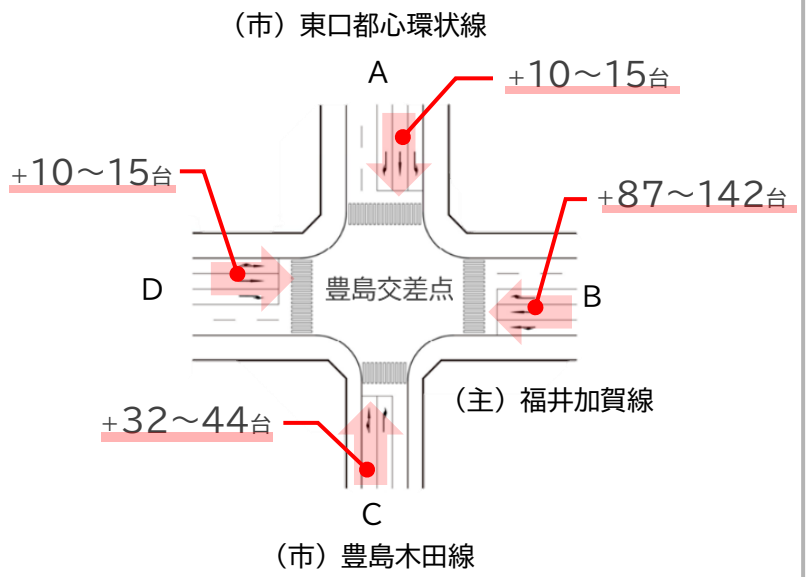
〔12時台〕

A：10台 B： 87台 C：32台 D：10台

〔13時台〕

A：15台 B：142台 C：44台 D：15台

1時間あたりの増加台数（需要予測交通量）



■流入部別 時間帯別交通量（休日）（台/時）

時間帯	流入部 A (市)東口都心環状線	B (主)福井加賀線	C (市)豊島木田線	D (主)福井加賀線	計
12～13時	421	668	384	604	2,077
13～14時	415	669	367	632	2,083

■流入部別 需要予測交通量(台/時)

時間帯	流入部 A (市)東口都心環状線	B (主)福井加賀線	C (市)豊島木田線	D (主)福井加賀線	計
12～13時	431	755	416	614	2,216
13～14時	430	811	411	647	2,299

〔考察〕

Bリーグ開催時における豊島交差点部の交通量は、

- ✓ 平日朝のピーク時の8割弱
- ✓ 休日ピーク時と同程度

03 対応の方向性 | 対応策(案)

※今後、調査検討を進める中で変更となる可能性があります。

具体的な対応策(案)について、以下のように考えています。

これまでの調査などから見えてきたこと

安全・安心

◆ イベント開催時、豊島2丁目エリアに一般車両を進入させてしまうと、渋滞による歩行者の安全性の確保や近隣の住環境の保全の担保が難しい

◆ 誘導員の配置は必須であるものの、退場時に各交差点部で著しい滞留は発生しない(雨、雪の日除く)。

◆ 平常時、東公園隣接道路を通り抜けする車両が多く、危ない

駐車場

◆ 駐車場は福井駅西口エリアに集中している

◆ 駐車場は十分に確保できているものの、当日停められるかは不確実

車・渋滞

◆ コンサートは県外からの来場者が多く、自家用車利用が少なくなる傾向がある

◆ イベント開催と通勤、帰宅ラッシュとは重なるケースが少ない

◆ イベント開催による豊島交差点部への交通量の負荷は限定的

◆ 交通渋滞の緩和には、車の流入を集中させないことが重要

人・歩く

◆ 福井駅や近隣の駐車場などから歩いてもらう必要がある

主な対応策(案)

・警備方針に基づく、広報警備、警備員の配置、案内看板の設置など

・ハンプなどの道路整備、ゾーン30などの規制
・慢性的な交通渋滞の対応策(豊島・春日交差点等の信号秒数の見直し)

・公共交通機関の利用促進
⇒パーク＆ライドの拡充
(例)公共施設、店舗駐車場等の活用
⇒乗車特典の造成
(例)オリジナルカード、ステッカーの配布
⇒ふくいMaaSアプリの活用
(例)アリーナ内飲食割引、商店街利用クーポンなどの企画切符を造成

・分散駐車の促進
⇒主要駐車場のリアルタイム満空表示の導入
⇒休日、平日夜の民間駐車場、空き地の活用
(例)社員用駐車場の活用

・楽しく歩いてもらう仕掛け
⇒デジタルウォークラリーなど
・快適な歩道空間の創出
⇒照明、消雪設備の整備、歩道の設置など

03 対応の方向性

対応策（案）

〔分散駐車の促進〕

福井ブローウィンズは、アキッパ株式会社と連携協定を締結し、駐車場不足の解消や分散駐車の促進に取り組んでいます。

朝刊　2025/11/11　　２３面

県営体育館周辺

福井BWS 駐車場確保へ

シェアアプリ運営 アキッパ（東京）と連携

車庫など時間貸し案内

プロバスケットボールBリーグ2部の福井ブローウィンズ（BWS）は、駐車場アプリを運営する「akippa（アキッパ）」（東京）と連携し、セーレン・ドリームアリーナ（県営体育館）周辺の駐車場開拓に取り組んでいる。昨シーズンは、駐車場不足から、周辺の店舗駐車場に勝手に駐車するなどの苦情もBWSに寄せられていた。アキッパによる事前予約制の駐車場を開拓し、ストレスなく車で来場できる環境づくりを目指す。（前田皐）

県営体育館のある福井運動公園には約1100台分の駐車場がある。ただ同公園の9・98スタジアム（県営陸上競技場）、セーレン・ドリームスタジアム（県営球場）で大会が重なると駐車場が足りなくなる。BWSによると、昨シーズンは試合の際にシャトルバスなども運用したが、狐川沿いの道路や周辺店舗に駐車する事例が見られ、対策に追われたという。また、駐車場を確保するために、試合の何時間も前から車で来る観戦者もいたという。

アキッパは、駐車場シェアリングサービスを提供している。月決め駐車場の未契約区画や個人宅の車庫、空き地などを時間貸し駐車場として貸し出し、利用者はウェブやアプリで事前予約・決済する。アプリ会員は累計480万人（2025年9月現在）おり、全国で5万5千件以上の駐車場が常時予約できる。全国49のプロスポーツクラブと連携し、駐車問題の解消にも取り組んでいる。

BWSによると、運動公園周辺には、活用できる可能性のある駐車場が300台分ほどあり所有者らへ営業をかけ、開拓していく。運営担当の仲村泰政さん（27）は「アキッパを利用すれば簡単に空きスペースを貸し出して収益化でき、事故やトラブル時の保険もあり安心して利用できる」として周辺に駐車場を持つ人向けに貸し出し案内をしている。確保できたものから運用していく予定。将来的には市東公園を候補地とするアリーナ周辺でも駐車場の開拓を図りたいとしている。

セーレン・ドリームアリーナ周辺の駐車場開拓に取り組む福井ブローウィンズの担当者

福井新聞社提供

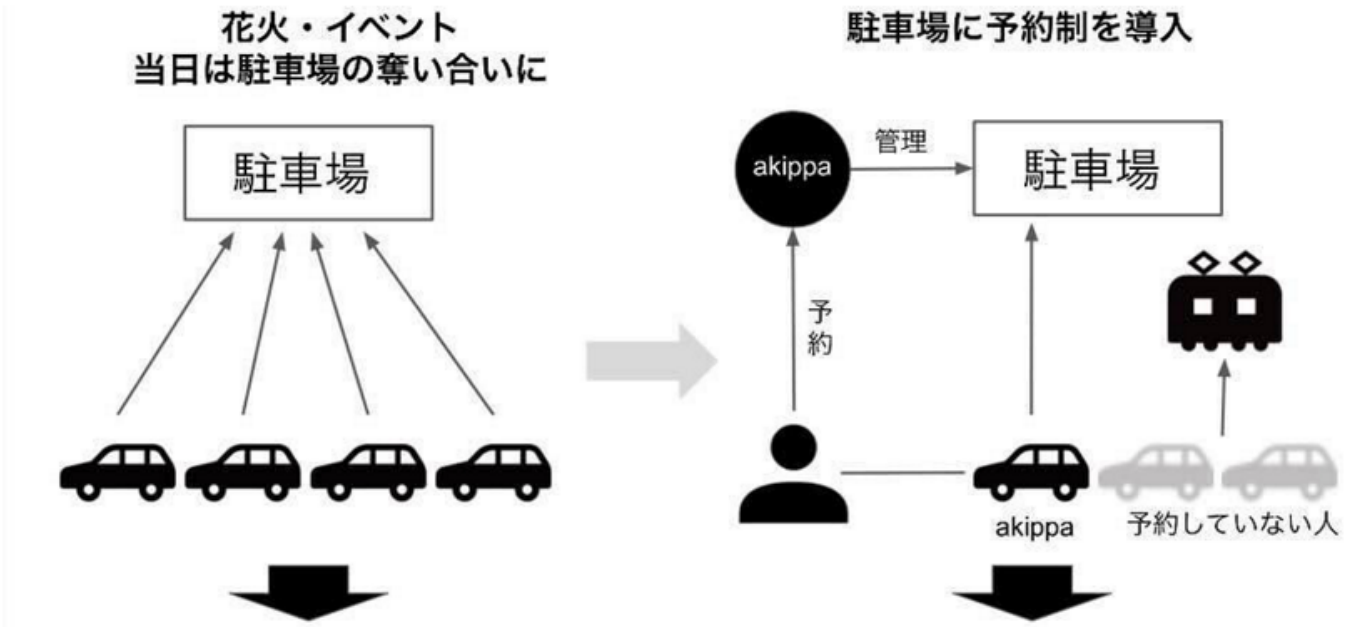
対応策（案）

〔分散駐車の促進〕

福井ブローウィンズは、アキッパ株式会社と連携協定を締結し、駐車場不足の解消や分散駐車の促進に取り組んでいます。

渋滞・混雑緩和

事前予約制を導入することで、予約者以外の車両での来場を抑止
渋滞、混雑による満足度の低下を防ぎ、 スムーズな駐車と渋滞緩和を実現
来場客、周辺住民ともに満足度 UP



・渋滞発生
・駐車料金が数倍～10倍超に高騰
⇒参加者の満足度大幅ダウン

・予約者はakippa経由
・予約していない人は公共交通機関で来場
⇒渋滞ゼロ、参加者満足度アップ

出典：akippa株式会社 資料